

ディプロマ・ポリシー 共同先進健康科学専攻	
観点	
A	現象に対し、異なる学問分野から習得した多角的な視点で観察でき、それらを論理的に考察し総括する能力を身につけていること。
B	①生命科学・食科学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を身につけていること。 ②産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する能力を身につけていること。
C	①高度なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を有し、国内外を問わず成果発表・広報・情報収集等に活躍できる能力を身につけていること。 ②国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を身につけていること。

博士後期課程

科目区分	授業科目	観点		
		A	B	C
専攻基軸科目	化学物質総合管理学	○		○
	生活環境総合管理学	○		○
	食農総合管理学	○		○
	感染症総合管理学	○		○
	ハザード評価学	○		○
	リスク評価学	○		○
	研究倫理	○		○
	イノベーションリーダーシップ	○		○
実践英語教育科目	Professional Communication			○
	Advanced Technical Reading and Writing			○
	Advanced Technical Presentation			○
	Workplace English			○
生命科学	獣医学概論	○	○	
	実験動物学特論	○	○	
	疾患モデル学特論	○	○	
	分子病態制御学特論	○	○	
	分子再生医学特論	○	○	
	知覚運動制御特論	○	○	
	先進がん治療特論	○	○	
	分子腫瘍学特論	○	○	
	脳・こころの健康医療科学特論	○	○	
	健康免疫学特論	○	○	
	環境バイオ分析化学特論	○	○	
	環境微生物学特論	○	○	
	環境ゲノム情報解析特論	○	○	
環境科学	植物環境工学特論	○	○	
	環境生物資源特論	○	○	
	環境生理学特論	○	○	
	生活習慣病予防学特論	○	○	
	食理健康学特論	○	○	
食科学	生体分子反応特論	○	○	
	実践生物統計学	○	○	
	時間栄養・薬理学特論	○	○	
演習科目	先進健康科学計画研究	○	○	○
	先進健康科学セミナーI	○	○	○
	先進健康科学セミナーII	○	○	○
	先進健康科学セミナーIII	○	○	○
	実践プレゼンテーション特論I	○	○	○
	実践プレゼンテーション特論II	○	○	○
	実地研修研究特論	○	○	○